

みんなの広場



石見屋呉服店には4世代のおひなさまが展示



3月5日・6日に開催された、手作り雑貨などが楽しめる『おひなマルシェ』も大盛況

まちかど絵本箱『えほんのたね』に絵本を寄贈 絵本を通じて人をつなぐ

絵本作家の園木まささん（鳥栖市）が、黒川町のまちかど絵本箱『えほんのたね』に絵本 16 冊を寄贈しました。園木さんは新聞記事で『えほんのたね』のことを知り、自身が制作した本を「さまざまな人に読んでもらいたい」と思い寄贈。人生をモチーフに絵本を制作している園木さんは、「誰かの人生が、誰かの参考になれば」と話しました。



↑ 園木さん（左から3人目）の絵本の主人公になった田中史朗さん（木須西・同2人目）も出席して絵本を贈呈

古伊万里通りのおひなさま

受け継がれてきた娘を思う気持ち

中心市街地のにぎわいを取り戻そうと、古伊万里通り（伊万里町）で古伊万里通りのおひなさまが開催されました。実行委員会が主体となり、今年で3回目。旧家に残る貴重なおひなさまやさまざまな種類の雛人形が飾られたほか、おひなさまにちなんだワークショップやキーワードラリーなども開催され、多くの人でにぎわいました。



↑ さまざまな表情のおひなさまが並び伊万里まちなか一番館では、訪れた子どもたちが見入っています

佐賀県原子力防災訓練

原子力災害に備える

地震発生による玄海原子力発電所の事故を想定した訓練が、大坪小学校であり、大坪地区の住民など 71 人が参加しました。住民が市外の避難先へ移動する訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止して、体育館で市職員から避難手順などの説明を受けました。参加者は、自然災害とは異なる原子力防災への意識を高めました。



↑ 職員は本番同様に防護服を着用。コロナ禍で、感染症対策を取りながらの訓練